

取扱いの趣旨

含糖酸化鉄注射液は、貧血の原因が鉄欠乏の場合、投与対象となるため、鉄欠乏以外の原因や鉄分補充の必要性がない腎性貧血、慢性透析患者、貧血の傷病名では原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【注射】

《令和6年8月30日》

278 腎性貧血等に対する含糖酸化鉄注射液の算定について

○ 取扱い

次の傷病名等に対する含糖酸化鉄注射液（フェジン静注）の算定は、原則として認められない。

- (1) 腎性貧血
- (2) 慢性透析患者
- (3) 貧血

○ 取扱いを作成した根拠等

含糖酸化鉄注射液（フェジン静注）の添付文書の効能・効果は「鉄欠乏性貧血」であり、鉄欠乏が貧血の原因となっている場合のみ適応となる。

腎性貧血の主因は、内因性エリスロポエチンの産生低下によるものであり、鉄欠乏によるものではない。

また、慢性透析患者、貧血のみの傷病名では、鉄分補充の必要性は認められない。

以上のことから、腎性貧血、慢性透析患者、貧血に対する含糖酸化鉄注射液（フェジン静注）の算定は、原則として認められないと判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	広島、宮城、徳島、青森、三重、和歌山	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	広島、和歌山、宮城、三重	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	広島、三重、青森、徳島、宮城	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、鉄欠乏症が原因である貧血と判断できることから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）
⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）
⇒審査委員長から連絡・再周知

2025年1月～2025年9月審査分

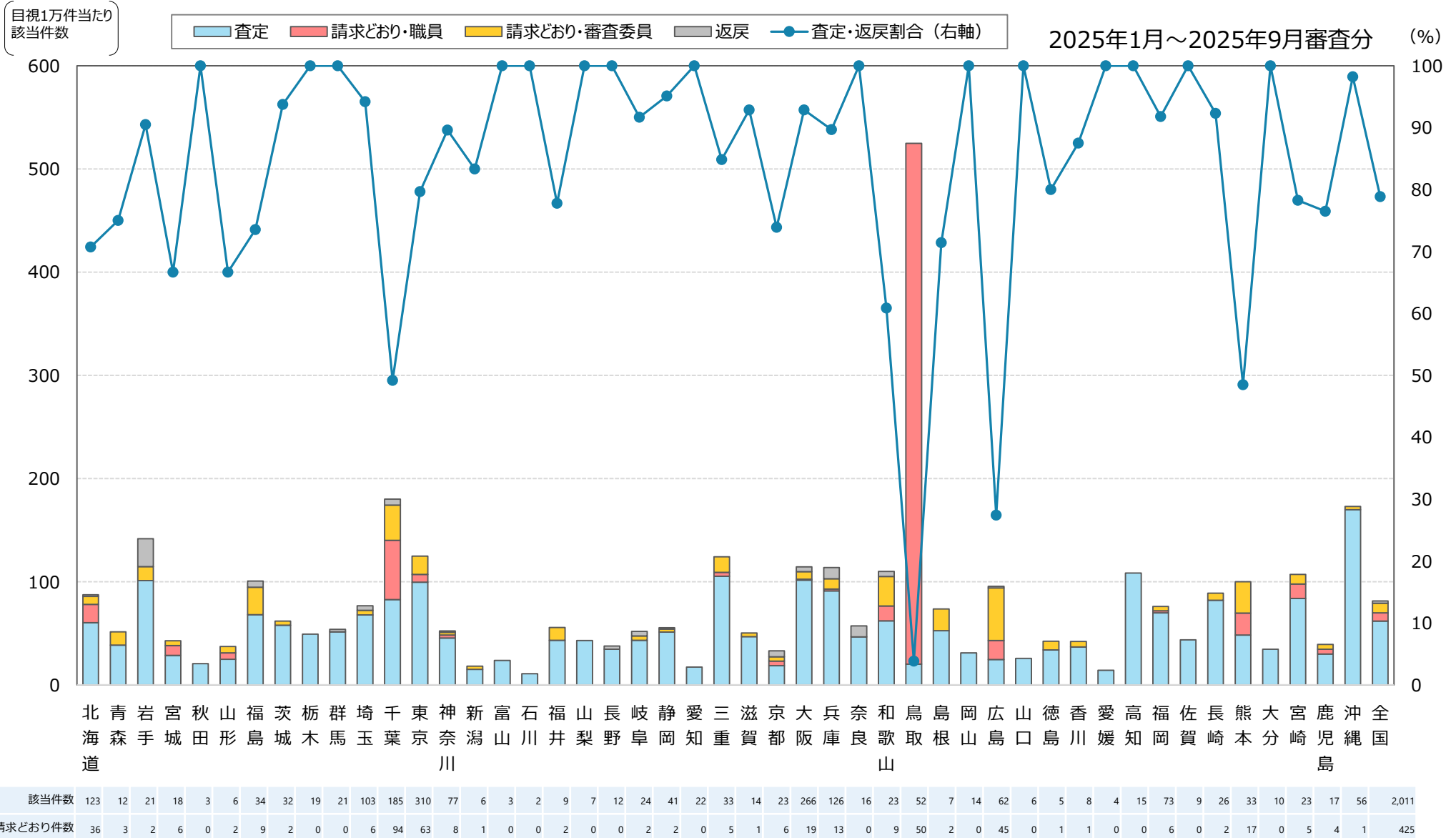
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,011件のうち、**取扱いと異なる審査は88件（4.38%）**
検証対象19都道府県のうち、**フォローアップ対象は6都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							請求どおり 詳記等 から適正				
01 北海道	123	112	91.06%	85	2	87	25	11	8.94%	0	11
02 青森	12	10	83.33%	9	0	9	1	2	16.67%	0	2
03 岩手	21										
04 宮城	18	12	66.67%	12	0	12	0	6	33.33%	4	2
05 秋田	3										
06 山形	6	5	83.33%	4	0	4	1	1	16.67%	1	0
07 福島	34	33	97.06%	23	2	25	8	1	2.94%	0	1
08 茨城	32										
09 栃木	19										
10 群馬	21										
11 埼玉	103										
12 千葉	185	181	97.84%	85	6	91	90	4	2.16%	0	4
13 東京	310	307	99.03%	247	0	247	60	3	0.97%	1	2
14 神奈川	77										
15 新潟	6										
16 富山	3										
17 石川	2										
18 福井	9	9	100.00%	7	0	7	2	0	0.00%	0	0
19 山梨	7										
20 長野	12										
21 岐阜	24										
22 静岡	41										
23 愛知	22										
24 三重	33	28	84.85%	28	0	28	0	5	15.15%	1	4

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							請求どおり 詳記等 から適正				
25 滋賀	14										
26 京都	23	23	100.00%	13	4	17	6	0	0.00%	0	0
27 大阪	266										
28 兵庫	126	120	95.24%	101	12	113	7	6	4.76%	2	4
29 奈良	16										
30 和歌山	23	20	86.96%	13	1	14	6	3	13.04%	3	0
31 鳥取	52	52	100.00%	2	0	2	50	0	0.00%	0	0
32 島根	7	7	100.00%	5	0	5	2	0	0.00%	0	0
33 岡山	14										
34 広島	62	19	30.65%	16	1	17	2	43	69.35%	12	31
35 山口	6										
36 徳島	5	4	80.00%	4	0	4	0	1	20.00%	0	1
37 香川	8										
38 愛媛	4										
39 高知	15										
40 福岡	73										
41 佐賀	9										
42 長崎	26										
43 熊本	33	33	100.00%	16	0	16	17	0	0.00%	0	0
44 大分	10										
45 宮崎	23	22	95.65%	18	0	18	4	1	4.35%	1	0
46 鹿児島	17	16	94.12%	13	0	13	3	1	5.88%	1	0
47 沖縄	56										
全国	2,011							88	4.38%	26	62

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数